

	千代田西部小学校
	R4年度 第42号
	令和5年3月20日 文責 校長 田中裕子

皆でつくり上げた感動の卒業式

17日の卒業式には、来年度のリーダーである4・5年生が6年生を見送る式を見事にやり切ってくれました。卒業式では、卒業生だけでなく、在校生、職員、そしてたくさんの保護者の方が涙を流すという感動の式典となり、皆の思いがここに結実しているのを感じました。感動は小さなことの積み重ねの先にしかありません。この日までに、どれだけたくさんの方の思いがたつむがれてきたことでしょうか。その思いの深さが最後の卒業式を凜とした中に温かみのあるものにしたのだと思います。

式後の時間もまた式に劣らぬ感動的なものでした。5年生が飾り付けてくれた教室では、子供たちからの一言、そして梅崎先生からの一人一人への最後の言葉がかけられました。先生からの言葉で涙が止まらなくなった子どもたちもいて、保護者の方も何人も涙されていました。きっと皆で最後の時を終わってほしくないとの思いで過ごしていたことでしょう。

このような思いで卒業できることは、次のステージに進む原動力となると思います。子供たちがしつとりと歌い上げてくれた「変わらないもの」の歌詞に「君と出会った幸せを かみしめながら 歩いていこう」という言葉がありました。きっと子供たちは苦しいことや悲しいことに出会ったときにこの歌とともに思い出し、前に進む力にすると思います。

卒業していった子供たちに心から「ありがとう」を伝えたいです。また、担任や校長、関係職員に保護者の方々から花束やプレゼント等いただきましたことこの場を借りて御礼申し上げます。



* 当日は佐賀新聞社の取材が入りました。動画も見られるとのこと。18日の新聞をご覧ください。

次なるリーダーも確実に育っている西部小です！

仕事にいそむ5年生

5年生の良いところの一つは「気持ちよく働く」ということです。その良さは16日の前日準備で存分に生かされました。どの先生からも助かったという声が聞こえてきました。「よく働く＝信頼」になることを様々な場で見えて来ました。すでに皆から信頼されている5年生。来年は最高学年として、学校をさらに良くしてくれる存在になりそうです！クラスのチームワークも抜群です★

高学年への気合十分4年生

4年生はいよいよ自分達も高学年になるのだと堂々としているように見えます。卒業式の呼びかけは凜として、かつこよかったですね。

これから新6年生がどんな仕事をしているのかをしっかりと見て、支えていってほしいと思います。新5年生が6年生と同じレベルになっていく姿を見るのが楽しみです！

お花を持ってきてくれてありがとう！

5年 山中ゆづきさん 3年 古賀らいむさん 1年 角田りょうたろうさん 無津呂りあさん

